未来社会を創り出す「工高生」

大阪府立の工業系高校

変わる工業系高校、広がる進路

大阪府の工業系高校は、府内の製造業を支える人材育成の拠点として重要な役割を担っている。経済産業省が今年7月に公表した「2025年経済構造実態調査二次集計結果（製造業事業所調査）」によると、大阪府は製造業事業所数が全国1位。製造業従業者数は全国2位であり、モノづくり産業が地域経済を支える大きな基盤となっている。

一方で工業系高校を取り巻く環境は大きく変化している。府内の公立中学校卒業者数は減少しており、工業系高校の志願者数も定員割れが続く。少子化を背景に府立校では閉校を含めた再編が進んでいる。25年4月には東大阪市の城東工科高校と布施工科高校の統合整備による東大阪みらい工科高校が開校。同時に西野田工科高校（大阪市福島区）の今宮工科高校（大阪市西成区）への機能統合も始まった。

また、生野工業高校（大阪市生野区）、泉尾工業高校（大阪市大正区）、東淀工業高校（大阪市淀川区）の3校は28年4月に開校予定のFIORA（フィオーラ）高校（仮称）に統合され、これに伴い27年3月以降、順次閉校となる予定だ。

しかし、このように厳しい風が吹く中でも工業系高校の社会的需要は依然として高い。卒業生の約7割が就職し、各校には卒業生数を大きく上回る求人が寄せられている。将来のモノづくり人材として産業界から強く求められていることは確かだ。

そこで府の教育委員会は、工業系高校の再編を進めるとともに各校の特色を深めた教育内容の充実を図っている。

市教育委員会と共同で策定した「大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画（平成26年―30年度）」に基づき、工科高校を「高大連携重点型」「実践的技能養成重点型」「地域産業連携重点型」の三つのタイプに分類。モノづくり教育の活性化に向けて、培ってきた教育手法や地域社会との関係性を生かした人材育成に注力している。

教育内容においては、時代の変化に対応した専門的な基礎と実践的な技術を身につけるだけでなく、問題発見力や創造力、チームで協働する力の育成にも力を入れる。また、製造業では多くの企業がAI（人工知能）やロボットなどのデジタル技術を活用しているため、デジタル技術への対応も求められている。これに応えるため、時代に即した設備への更新にも力を入れる。



第34回大阪府産業教育フェアで工業系高校生が製作したクレーンゲームを体験（8月30日・大阪工業大学 梅田キャンパス）

持続可能な工業教育へ
モノづくり人材育成強化

さらに近年の大学進学志向の高まりを受けて、高大連携重点型の高校に工学系大学進学専科を設置し、多様な進路を支援する仕組みを作った。これにより理工系大学への進学者が増えた。「就職だけの学校」というイメージを払拭し「大学進学もできる学校」へと変化している。

府の教育委員会は工業教育を持続可能なものとするべく、教育内容の充実とともに工業系高校の価値・魅力の発信に取り組む。

大阪府内の実業系高校が一堂に会する「第34回大阪府産業教育フェア」が8月、大阪工業大学梅田キャンパス（大阪市北区）で開かれた。工業系高校や商業高校、農業系高校などの生徒たちが日頃の学びの成果を広く発信するイベントで、会場は1000人を超える来場者でにぎわった。

公立、私立合わせて約30校が参加し、作品展示や農産物の販売などを実施した。中学生と保護者らへの魅力アピールを狙い、レーザー加工機を用いたモノづくりなど体験型のワークショップを実施する学校も目立った。また今回は生徒実行委員会を初めて組織した。14校から49人が参加し、活動資金はクラウドファンディングで募集。生徒目線の企画でフェアを盛り上げた。

同キャンパス内のホールでは高校発のスタートアップ企業「AKINDO SPARKLE」で活動する淀商業高校の生徒たちが、展開中のビジネスプランを紹介。実業高校への進学で得られる可能性の大きさも示した。

大阪府産業教育フェア
学びの成果を発信　展示や販売、ワークショップなど実施

FIORA高校 2028年4月開校
先端技術で学ぶ　分野横断の独自カリキュラム

2028年4月、大阪市淀川区に工科系高校「FIORA高等学校（仮称）」が開校する。ロボティクスやライフマテリアルなど未来を担う六つの専攻科を置き、分野横断が可能な独自のカリキュラムで技術やアイデアに革新を起こせる人材を育成する。

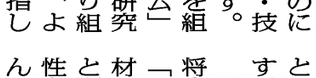
技術教育では高度な技術を持つ一線のエンジニアらとの交流も重視。産学官の協働プロジェクトスペース「エンジニア交流Lab.」を設ける。また大学進学を進路として明確化し、AIを用いた学習システムなども導入する。

校名は英語で「未来志向」「分野横断・統合」「固定観念にとらわれない」などを意味する五つの言葉の頭文字を取った。

メッセージ

2校の伝統継承し専門性、実践力育む

大阪府立東大阪みらい工科高校　校長　中谷　竜也氏



東大阪みらい工科高校は城東工科高校と布施工科高校の伝統を継承し、大阪府東大阪市に2025年度開校した工科高校です。前身の両校は、世界的な建築家である安藤忠雄さんをはじめ、産業界の第一線で活躍する多才な人材を輩出してきました。

本校は就職・進学の双方に対応した工業教育に取り組んでいます。2年次から専門学科に所属する総合募集枠は、機械工学系（メカニクステクノ専科、マシンコントロール専科）・電気情報工学系（エレクトロニクス専科、ICTネットワーク専科）・都市住宅系（アーキテクト専科、インフラ専科）があり、専門技術の習得と課題解決力を育みます。一方で、単独募集枠として、入学時から大学進学を見据えた工学系大学進学専科があります。

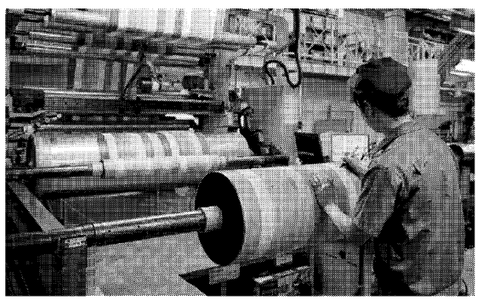
さらに、職業知識や技術・技能を養う教育として、モノづくりのまち・東大阪の強みを生かし、企業や大学と連携した実践的な学びを展開しています。25年度は課題研究として、樽型サウナの熱循環の調査・改良や、下水管調査ロボットの開発、ペットボトル型水力発電機の開発などをテーマに取り上げました。これらを通じて、生徒は社会や地域の課題に向き合いながら、専門性と実践力を高めています。

本校の教育活動は前身の両校が大切にしてきた「誠（物事に誠実に向き合う態度）」「志（世のため人のために役立とうとする思い）」「力（理想を現実のものにするための確かな知識と技術・技能）」の三つを礎にしています。また学校の学習と企業の実習を組み合わせた「デュアルシステム」や企業・大学と連携した課題研究など、両校から継承した取り組みは協力企業や大学と連携し、より実践的なものへ発展を目指します。

ユニバーサルデザインや国連の持続可能な開発目標（SDGs）といった地域・世界の課題にも着目し、25年度には「ユネスコスクール」の認定を受けました。本校で学んだ生徒が未来社会の技術者や研究者として、グローバル社会で活躍できる人材へと成長することを、私たちは全力で支援します。

工業系高校で学んだ生徒には、将来、確かな知識と技術・技能で「未来を切り拓くものづくり人材」として社会で活躍してほしいと願っています。生徒たちの可能性を、産業界の皆さまとともに育んでいきたいと考えています。

投資育成 アイコンがある広告は大阪中小企業投資育成の出資先企業です。

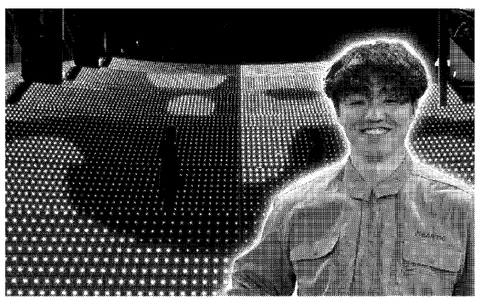
投資育成


「他人のやれない商品づくり」掲げ挑戦

明和グラビアはビニール（塩化ビニール樹脂）への印刷を業界に先駆けて実用化した企業。インキ・処理剤の開発から印刷版・成型版の製版、製造機の設計・組み立てまでを一貫して行う。独自のプラスチック成形技術を生かし、生活用品（日用品、DIY製品、ペット用品、医療用品）、産業資材、電子部品など、さまざまな分野の製品を手がける。

経営指針に「他人のやれない商品づくり」を掲げ、設備の改良や新製品の開発を積極的に行っている。また、感謝の気持ちを伝える「サンキューカード」や表彰制度など、社員の成長を後押しする仕組みも充実。失敗を恐れず挑戦する風土の中で、社員の可能性を広げながら成長を促す環境を整えている。

MEIWA 明和グラビア株式会社
本社・大阪工場 〒577-8510 大阪府東大阪市柏田東町12−28 TEL:(06)6722-1131㈹ FAX:(06)6736-1855
行田工場 〒361-0021 埼玉県行田市富士見町1−22−1 TEL:(048)554-5201㈹ FAX:(048)553-0827

投資育成


映像、照明、音響で感動空間を演出

ハートスは映像、照明、音響を組み合わせ、イベントや施設などで多彩な空間演出を手がける。営業部門のスペースプロダクトグループでは、テーマパークのアトラクションや施設などの照明演出を中心に、顧客への提案から施工、安全管理まで幅広く担う。1万5000個のLEDを使った京都駅ビル大階段のイルミネーションや、「神戸ルミナリエ」などの施工実績がある。同社担当者は「他部署と協力する機会も多く、気軽に相談しやすい環境」と話す。

電気工事士などの資格取得を支援する制度も設け、社員の成長を後押ししている。今年創業80周年を迎えた同社は、これからも人々の心を動かす空間を創り続ける。

HEART-S 株式会社 ハートス
本社 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1−6−29 JRE堺筋本町スクエア10F TEL:(06)6265-2651 FAX:(06)6265-2652
T.E.D.S.ファクトリー 〒559-0031 大阪市住之江区南港東8−2−56
和歌山オフィス 〒640-8216 和歌山県和歌山市元博労町36 シャインビル・フクシマ 302号
神戸オフィス 〒651-0086 神戸市中央区磯上通4−3−10 IPSX EAST 706号
中之島オフィス 〒553-0003 大阪市福島区福島1−4−4 セントラル70 4F4B号室

投資育成


独自のドローイング技術で競争力高める

オーエフ工業はステンレス製部材の成形加工を手がける専門メーカー。建築部材をはじめ、機械部品や鉄道車両部品など、社会インフラを支える製品を供給している。

同社の強みは、ロールで材料を引き延ばしながら成形する独自の「冷間ロール式ドローイングベンチ」と一般的なロールフォーミングを使い分け、高精度かつ複雑な形状を実現できる技術力だ。金型設計から製作、加工、研磨までの一貫生産体制も構築している。近年は中国・台湾をはじめ海外展開を強化し、欧州市場の開拓にも注力する。顧客ニーズに応じた最適なモノづくりで、ニッチ分野での競争力を高め、さらなる成長を目指している。

オーエフ工業株式会社
本社 〒575-0041 大阪府四條畷市部屋新町7−28 TEL:(072)877-6363 FAX:(072)877-5335
大東工場 〒574-0056 大阪府大東市新田中町3−38 TEL:(072)874-9011 FAX:(072)874-9025
和歌山工場 〒640-8311 和歌山市寺内732−1

投資育成


創立70周年記念パーティーの様子

楽しく自由な職場環境で業績も上昇中

日本精器は空気圧機器メーカーとして「空気圧の価値」を追求する。制御・駆動機器や空気圧応用機器などを設計開発から販売まで一貫して対応する。創立71年を迎える元気企業で、2019年から8年連続で「健康優良法人（中小規模法人部門）」の認定を受けている。社員ファーストをモットーに、社内オリエンテーションも活発に行い、職場は楽しく笑いの絶えない社風だという。

事業も堅調に拡大中で、同社製品は国内造船業界など多くの業界で引き合いが見込まれている。また、エアコンプレッサーなどの新規事業や新製品開発にも積極的に取り組む。「楽しい職場だが、まじめでアイデアマンなら実力次第でトップも夢ではない」と沖田和久社長は言う。

日本精器株式会社
本社・工場 〒581-0016 大阪府八尾市八尾木北2−8 TEL:(072)923-0481 FAX:(072)994-3603
大阪営業所 〒581-0016 大阪府八尾市八尾木北2−8 TEL:(072)923-0481 FAX:(072)994-3603
東京営業所 〒143-0027 東京都大田区中馬込1−16−23 TEL:(03)3777-6111 FAX:(03)3777-6116

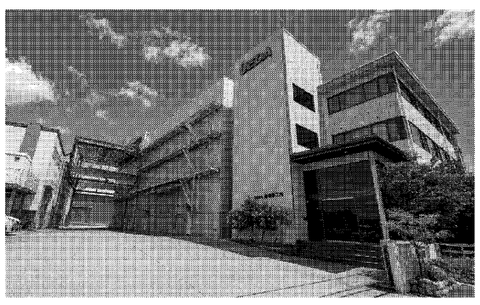
投資育成


独自の押し出し成形技術で幅広い産業を支える

カツロンは建築・自動車・医療・半導体関連など幅広い分野向けのプラスチック製品を製造する押し出し成形メーカー。独自の技術と金型の内製化を強みに、これまで5000品種を超える製品開発を手がけた。環境配慮型製品「ターフパーキング」の開発や脱炭素への取り組みにも力を注ぐ。

製造現場では原料投入から成形、加工、出荷まで幅広い工程に携わり、機械や材料、品質管理の知識と技術を身につけられる。若手社員も積極的に挑戦できる社風で、自らが携わった製品を日常で見かけると大きなやりがいを感じるという。昼食を全額会社で負担する制度など福利厚生の充実にも注力しており「学生に知ってほしい働きがいのある企業賞」大賞も受賞した。

株式会社カツロン
本社・本社工場 〒577-0065 大阪府東大阪市高井田中1−6−6 TEL:(06)6784-3784 FAX:(06)6784-3785
奈良工場 〒639-1039 奈良県大和郡山市椎木町391−4 TEL:(0743)23-0207 FAX:(0743)23-0208
栃木工場 〒323-0158 栃木県小山市梁2333−33 TEL:(0285)39-1077 FAX:(0285)39-1078

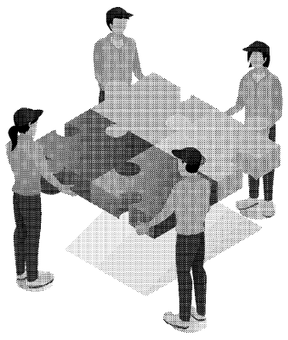
投資育成


巨大な歯車で日本の産業を支える技術者集団

植田鉄工所は大形の歯車専門メーカー。1893年の創業以来、長年培ってきた技術を生かし、製鉄設備や産業機械など、さまざまな機械に使われる歯車を製造している。歯車は機械の性能を十分に発揮するために欠かせない。力を確実に効率的に伝えることが重要で、特に大形の歯車はより高い強度、精度、品質が求められる。

同社は材料の調達や熱処理など、歯車加工だけにとどまらない総合力が強み。設計から加工、検査までを自社で一貫して行うことで、高強度、高品質、高精度を実現する。さらに国内有数の設備を備えており、モノづくりの現場を支えている。確かな技術力で産業の発展に貢献し、次世代へ技術をつなぐ。

UEDA Ueda Heavy Gear Works Ltd. 株式会社 植田鉄工所
〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島6−13−89 TEL:(06)6473-4301 FAX:(06)6474-2311



地域・企業との連携で広がる学び

少子化の流れを受け、専門性の高い人材を確実に育てるための教育内容が求められている。中でも工業系高校では、専門的な知識や技術・技能をモノづくりの現場で生かすための地力の育成が重要となる。また、マナーやコミュニケーション能力といった社会人基礎力も必要だ。こうした働く現場を意識した学びには、地域、企業の協力が欠かせない。大阪府立の工業系高校では、産学官が連携した実習や課題研究などをカリキュラムに盛り込み、より実践的な教育体制の構築が進む。

堺工科高校のキャリア支援

接点増やし企業理解深める

「（生徒や保護者に）中小企業にも目を向けてもらいたい」と話すのは堺工科高校（堺市堺区）の東秀行校長。同校は地域の関係機関の協力を得ながら、生徒と中小企業との接点を増やし、学校全体でキャリア支援を強化する。

この取り組みの中で、１、２年生の生徒に企業説明会を行っている。就職活動が本格化する前段階に企業を知ってもらうための試み。約20社が同校を訪れ、仕事内容や業界の魅力を伝える。大阪信用金庫（大阪市天王寺区）などの紹介で協力企業を集めている。

さらに、2026年度からインターンシップを２年生の必修授業として実施。126人の生徒が38社の協力企業の職場体験に参加した。体験を通して、働くことへのやりがいや責任感を育む。

生徒だけでなく、先生にも企業理解を深めてもらう取り組みも進む。26年２月に、初めて全学年の教員を対象に企業説明会を行った。企業の事業内容や求める人材像、業界の現状を知ることで、生徒への進路指導に生かす。堺商工会議所の協力を得て協力企業を募った。今後も継続して行う方針。東校長は「地域や企業との関係を深めながら、産業人材を育てていく」と力強く語る。

布施工科高校 デュアルシステム

布施工科高校は高校での授業と企業実習を並行して行うデュアルシステムを3年生の授業に取り入れている。

デュアルシステムは企業実習を通じて、授業で習った知識や技術・技能を実際の生産現場で体験し、応用力や思考力の向上を目指す。マナーやコミュニケーション能力など、社会人として必要な基礎を身につけることも目的の一つ。体験学習といった側面が強いインターンシップ（就業体験）と比べて、より実践的な「働く力の習得」に重点を置く。

企業実習は選択授業と課題研究の授業として位置づけられ、前期（４―６月）と後期（10―12月）の期間にそれぞれ週1日、7週程度行う。実習後は校内で成果報告会を開催する。実習先の協力企業も参加できるため、企業同士の交流の場にもなっている。

実習先の企業は生徒の希望と協力企業との適性を踏まえて担当教員が選定する。同校の中井宏典校長は「生徒と企業のマッチングが非常に重要。先生の腕の見せどころ」と話す。

生徒に社会経験を身につけてもらうための取り組みだが、結果的に就職にもつながっている。2025年度は生徒40人が受講し、協力企業19社が受け入れ実施した。このうち13人の生徒が、その後の就職活動で実習先の企業9社に内定が決まった。実習を通じて、生徒は企業の魅力や仕事の適性を知ることができ、企業も生徒の人柄を知るいい機会となっているようだ。

売り手市場のため、早期に生徒と接点を持ちたい企業は多い。ただ、「生徒の定員は40人が限界」（中井校長）と語る。実習期間中は担当教員が受け入れ先の企業を訪問し、生徒の状況把握や企業との連絡・調整などを対応する。教員の負担を考えると、生徒数や実習先をこれ以上、増やすことは難しいという。

また、協力企業も生徒の授業時間の中で実習を行う必要があるなど、生徒の受け入れには学校側、企業側の双方の協力が不可欠。中井校長は「工業系高校生を受け入れるための環境づくりを意識してほしい」と企業に呼びかける。

布施工科高校は26年度で閉校となるが、デュアルシステムは東大阪みらい工科高校の27年度のカリキュラムに引き継がれる方針だ。

企業実習で「働く力」習得

企業と協力し実現 育成と採用の好循環

布施工科高校のデュアルシステムと課題研究（大和ハウス工業連携事業）の年間予定

年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
デュアルシステム	事前指導（対生徒） 安全教育（校内） 企業実習（前期）			成果報告会に向けて発表資料作成 プレゼン練習		
課題研究 大和ハウス工業 との連携事業	総合技術研究所見学 オリエンテーション 分譲住宅見学・測定		NEXT21見学 新築工事現場見学	プレゼン練習 夏休み課題 最終課題の提示		インテリア講座 ショールーム見学

年月	10月	11月	12月	翌年1月	2月	3月
デュアルシステム	中間報告会（校内） 企業実習（後期）			成果報告会の 最終調整	**成果報告会 ※協力企業参加**	
課題研究 大和ハウス工業 との連携事業	インテリアデザイン 講義・環境講座 中間プレゼン 最終作品作成	作品作成・中間確認 （図面・インテリア提案）		最終プレゼン テーション 大和ハウス工業みらい 価値共創センター 「コトクリエ」		

課題研究 各校の取り組み

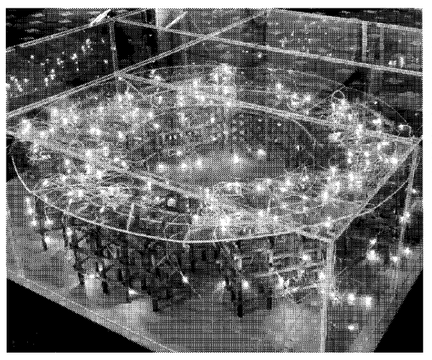
生徒の問題解決力 養う

工業系高校には工業に関するテーマを設定し1年を通して継続的に取り組む「課題研究」という科目がある。専門知識と技術を深めるとともに、問題解決能力や自発的・創造的に学習に取り組む姿勢を育てることを目標とする。各校はそれぞれの特色や地域企業との連携を生かしながら、最新の技術動向を踏まえた課題研究に取り組んでいる。

布施工科高校は大阪府と大和ハウス工業が締結した包括連携協定のもと、連携事業の一環として共同で課題研究を実施している。同社の社員が講師となり、実地測量や図面化などを教える。最終課題では、最終発表会での披露を目標にインテリアを含む自由設計に挑戦。発表会では現役の建築士や工事・設備担当者から直接講評を受けられる。課題研究に取り組むことで、考える力や発想を形にする力、プレゼンテーション能力など社会で求められる実践力を鍛えることができる。

地域社会との連携の例として、西野田工科高校の「商店会活性化プロジェクト」という課題研究がある。野田阪神駅前通商店会の会長から依頼を受け、同商店会の活性化に向けて取り組んだ。同校が26年度で閉校を迎えるにあたり、生徒は「支援してくれた地域にモノづくりの力で恩返ししたい」と思いを込めた。

建築都市工学系・機械系・工業デザイン系・電気系の各系が協働する「系横断型」チームを結成し、発光ダイオード（LED）看板や25年大阪・関西万博の大屋根リングの模型を製作。完成した製作物は商店街に展示された。看板掲載場所の調整やLEDの電圧不足など、現場で発生する課題に柔軟に対応する過程を通じて、社会で生かせる仕事の進め方や課題解決力を養う。



製作した大屋根リングの模型は商店街で展示されている（西野田工科高校提供）

専門分野掛け合わせ 研究テーマ多様に

一方、生野工業高校ではメタバース（仮想空間）プラットフォーム「クラスター」を用いた3次元（3D）技術の習得をテーマに課題研究を進めた。基礎的な3D制作技術から学び始め、段階を踏みながら制作スキルを習得。校外イベントでの活用を見据えて、クラスター内に同校舎の制作も始めた。校舎制作は次年度の後輩に引き継ぐ。

このように課題研究を通して、基礎技術を学ぶだけでなく技術の利活用に対する価値創出までを考える経験を積むことができる。研究内容に対して協力企業から助言をもらうことで、生徒は学んだ技術が社会でどのように使われているのかを知るきっかけにもなる。

26年2月、大阪市内で開催された「令和7年度大阪府立工業系高校課題研究合同発表会」で、各校から選出されたチームが集まり、研究内容を発表した。川田裕氏（当時常翔学園理事）は「失敗したことから進歩につながる。早く経験できたことが糧になる」と講評した。

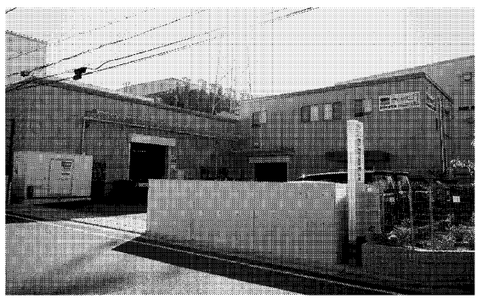
近年の課題研究は専門性を組み合わせた内容が増え、テーマも多様性に富む傾向にある。専門分野をまたいだ研究はトラブルが発生する可能性も高くなるが、課題を乗り越えた経験は社会で役に立つだろう。次回の合同発表会は27年2月12日に開催を予定している。

近年は専門知識・技術を持つだけでなく付加価値の高い仕事ができる人材が求められている。大阪府立の工業系高校は、課題研究やインターンシップなどで企業との接点を積極的に持ち、実践的な学びの機会をつくっている。地域社会や企業と協力しながら、地域に根ざしたモノづくり人材の育成に力を注ぐ。



メタバース上に再現した校舎と生徒の作品（生野工業高校提供）

投資育成 アイコンがある広告は大阪中小企業投資育成の出資先企業です。



細やかな提案力と現場の課題に応える技術力

大阪市西区に本社を置くねじ・ファスナーの専門メーカー兼商社として今年８月に創業60周年を迎えた。建築・住宅・自動車・家電製品・産業機械など幅広い分野に製品を供給している。メーカーと商社の機能を融合したハイブリットな事業展開が強みで、市場の情報をいち早くつかみ、製品づくりに生かしている。

自社ブランドの「パイロビス」をはじめ建築用ねじが得意で、斜めに打っても水が入りにくい「斜薬」を開発するなど、現場の課題に応える技術開発にも積極的に取り組んでいる。細やかな提案力でモノづくりを支えるパートナーとして信頼を築き、技術革新と品質向上を追求し続けている。

平田ネジ株式会社 hirata
本社 〒550-0025 大阪市西区九条南3−28−17 TEL:(06)6581-1822㈹ FAX:(06)6581-1878
商品センター 〒550-0025 大阪市西区九条南3−24−20 TEL:(06)6581-9981
八尾第1工場 〒581-0851 大阪府八尾市上尾町4−11−16 TEL:(072)990-2111㈹ FAX:(072)990-2112

投資育成

高精度の自動車部品を作る金型を提供
一発のプレスで材料を複雑な形状に加工
材料 → 鍛造 → 部品
高精度 省資源 高強度

京都発、精密鍛造金型の技術力

ニチダイは京都府に本社を置く東証スタンダード上場企業。自動車や産業機械の部品を製造するための「精密鍛造金型」の分野で高い技術力を持ち、世界のモノづくりを支えている。若手社員が早くから活躍しており、技能や知識を身につけながら成長している。

近年は電気自動車（ＥＶ）関連や環境分野にも挑戦し、新たな価値の創造に取り組む。国内だけでなく海外にも事業を展開し、確かな技術とチャレンジ精神を強みに、未来の産業を支える技術革新を続けている。これからも培ってきた技術力を生かし、世界のモノづくりを支える企業として挑戦を続けるとともに、持続可能な社会の実現にも貢献していく。

株式会社 ニチダイ NICHIDAI CORPORATION
本社 〒610-0341 京都府京田辺市薪北町田１３ TEL:(0774)62-3481 FAX:(0774)62-3469
京田辺工場 〒610-0341 京都府京田辺市薪北町田１３ TEL:(0774)62-3880 FAX:(0774)62-3702
宇治田原工場 〒610-0201 京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14 TEL:(0774)88-6311 FAX:(0774)88-6321

投資育成

一貫生産でオーダーメイドのパッケージを提供



Suganoは兵庫県加西市で1976年に設立。パッケージの企画・デザインやフィルムの製造・印刷から製袋まで一貫生産する。当社製品は食品や日用品に使うパウチなどとして店頭に並ぶ。顧客のニーズに応えて設備投資を続け、過去20年間で売り上げを10倍以上伸ばしてきた。

年功序列を廃止し、技術力や改善能力のある社員は高く評価される実力主義を採用。製造現場は多種多様の印刷機・製袋機などをそろえ、未経験でも一から教える教育で学科を問わず工業高校卒の経験を生かせる環境を整えている。近年は女性の活躍する場も増えている。27年初春には業界を先導する環境対応のスマートファクトリーとして加西インター工場が稼働予定だ。

株式会社 Sugano
本社・工場 〒675-2101 兵庫県加西市繁昌町894 TEL:(0790)49-0405 FAX:(0790)49-2556

投資育成

工業技術生かし歯科医療を支える力に



和田精密歯研は歯科技工を「小さな工業界」と位置付け、工業技術を生かした歯科技工製品づくりを進めている。3Dプリンターや CAD／CAM、レーザー加工など工業分野で培われた技術を歯科医療の現場に応用。一人ひとり異なる口腔内に適合する高精度な歯科医療製品を実現するために５軸NC加工機やNC旋盤、金属レーザー積層装置といった先進設備を活用している。求められるのはミクロン単位の精度と品質で、機械加工や設計、デジタル技術など多様な技術が結集する。

創業者の「ないものはつくる」という精神を受け継ぎ、オーダーメード製品を通じて歯科医療を支え、人々の健康と豊かな生活に貢献している。

歯も心も美しく 和田精密歯研株式会社
本社 〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路3−15−46 TEL:(06)6321-8551
マシンセンター 〒761-2204 香川県綾歌郡綾川町山田下403−6 TEL:(087)878-3011

投資育成

液体の「運ぶ」を支えるポンプメーカー



1947年創業の大同機械製造は液体を送り出す産業用ポンプの専門メーカー。シャンプーなど身近な日用品から石油化学プラントの高粘度液まで、さまざまな現場の「運ぶ」を支えてきた。

主力の内転歯車ポンプは独自開発の歯形による高い耐久性と高効率が強み。中でもギアポンプ「Ｇシリーズ」は材質やシール方式の組み合わせが200万通り以上あり、顧客の細かな要望に応えられる。液体の性質や用途に合わせて仕様をきめ細かく調整し、顧客ごとに最適な一台を追求する。中国や東南アジアにも事業を広げ、世界各地の生産現場で実績を重ねている。目立たない場所で産業の動きを支える確かな技術力が強みだ。

あらゆる液体に挑戦し続ける Since1947 大同機械製造株式会社
本社工場 〒569-0035 大阪府高槻市深沢町１−２６−２６ TEL:(072)671-5751㈹ FAX:(072)674-4044
東京支店 〒114-0013 東京都北区東田端2−1−10（豊田ビル） TEL:(03)3800-8255㈹ FAX:(03)3800-8259
九州出張所・上海現地法人・タイ駐在所 ほか海外14代理店

投資育成

生産設備の稼働を支える電源技術



京都電機器は1962年に設立し、産業用電源や画像処理用の発光ダイオード（LED）照明装置などの光学製品を手がける。長年培ってきた技術で直流・交流・高圧電源を開発してきた。主力製品であるカスタム電源や瞬時電圧低下保護装置は、半導体製造装置をはじめ世界の産業機器で採用され、生産設備の「心臓」として稼働を支えている。

同社は次世代素材を活用した高い技術力と開発から製造までの一貫体制により、多様な顧客ニーズに沿った製品カスタマイズにも短納期で対応する。

また、社員食堂や寮など福利厚生も充実しており、社員の満足度向上にも注力。顧客と社員の双方に選ばれる企業を目指している。

パワーエレクトロニクスとオプトエレクトロニクスの 京都電機器株式会社
本社・本社工場 〒611-0041 京都府宇治市槇島町十六19−１ TEL:(0774)25-7711㈹ FAX:(0774)25-7712
西日本営業所 〒611-0041 京都府宇治市槇島町十六19−１ TEL:(0774)25-7700 FAX:(0774)25-7713
東日本営業所 〒243-0018 神奈川県厚木市中町2−8−13 TEL:(046)297-4141 FAX:(046)224-1100

自分らしい未来を見つけよう 大阪府立の工業系高校

大阪府立の工業系高校 一覧MAP（2026年11月現在）



1 都島工業高校
・理数工学科・建築科・電気電子工学科
・都市工学科・機械科・機械電気科
大阪市都島区善源寺町1－5－64

2 堺工科高校
・環境化学システム系・機械系
・電気系・工学系
堺市堺区大仙中町12－1

3 佐野工科高校
・産業創造系・機械系
・電気系
大阪府泉佐野市高松東1－3－50

4 茨木工科高校
・機械系・電気系
・環境化学システム系・工学系
大阪府茨木市春日5－6－41

5 淀川工科高校
・機械系・電気系
・メカトロニクス系・工学系
大阪市旭区太子橋 3－1－32

6 藤井寺工科高校
・機械系・電気系
・メカトロニクス系
大阪府藤井寺市御舟町10－1

7 工芸高校
・ビジュアルデザイン科・映像デザイン科・プロダクトデザイン科
・インテリアデザイン科・建築デザイン科・美術科
大阪市阿倍野区文の里1－7－2

8 西野田工科高校
・機械系・電気系
・建築都市工学系・工業デザイン系
大阪市福島区大開2－17－62
25年度入学生から 募集停止

9 今宮工科高校
・機械系・電気系・建築系
・デザイン系・工学系
大阪市西成区出城1－1－6

10 城東工科高校
・機械系・電気系
・メカトロニクス系
大阪府東大阪市西鴻池町2－5－33
25年度入学生から 募集停止

11 布施工科高校
・機械系・電気系
・建築設備系
大阪府東大阪市宝持3－7－5
25年度入学生から 募集停止

12 東大阪みらい工科高校
・機械工学系・電気情報工学系
・都市住宅系・工学系
大阪府東大阪市西鴻池町2－5－33

13 東淀工業高校
・機械工学科・電気工学科
・理工学科
大阪市淀川区加島1－52－81
28年度入学生より 募集停止

14 生野工業高校
・機械科・電気科
・電子機械科
大阪市生野区生野東2－3－66
25年度入学生から 募集停止

15 泉尾工業高校
・ファッション工学科・セラミック科
・工業化学科・機械科・電気科
大阪市大正区泉尾5－16－7
28年度入学生より 募集停止

2028年4月開校

16 FIORA（フィオーラ）高校（仮称）
・IT（仮）・デザインクリエイト（仮）・ロボティクス（仮）
・メカニクス（仮）・エレクトロニクス（仮）・ライフマテリアル（仮）
大阪市淀川区加島1－52－81

セカンドキャリアについて

学んだ技術、もう一度生かしませんか

飯田製作所 代表取締役 三浦 邦康氏

工業系高校を卒業したものの、モノづくりとは離れた業界で働いている―そんな方は少なくありません。しかし、旋盤やフライス盤による機械加工や製図など、高校時代に身につけた技術や知識は決して無駄になるものではありません。

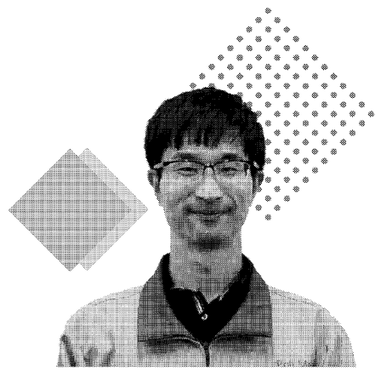
これまで培われた基礎知識やモノづくりへの理解は、再び現場に入ってから大きな強みとなるからです。一度製造業を離れた方でも問題ありません。むしろ、さまざまな社会経験を積んだからこそ、モノづくりの面白さや技術を身につける喜びを改めて実感できるはずです。

当社では、経験にブランクがあっても、先輩社員のサポートを受けながら技術を磨くことができます。「もう一度モノづくりに挑戦したい」「手に職をつけて働きたい」という前向きな気持ちを大切にしています。

工業系高校で学んだ時間は、一生の財産です。もし今の仕事に迷いや物足りなさを感じているなら、もう一度製造業という選択肢を考えてみてほしいと思います。

卒業後の進路はどうする？ 先輩インタビュー

熱中した機械設計を仕事に



中田製作所
技術部 第1設計グループ 主任
関（せき） 北斗（ほくと）さん

在学中は特に機械設計に注力しました。思い描いた設計の仕事に取り組めると感じたこと、面接で接した社員の雰囲気が良かったことが当社を志望した理由です。

当社はパイプをつくる機械のメーカーで、パイプ製造に必要な一連の設備の設計・製作から据え付け・試運転まで手がけます。入社当初は先輩に教わりながら、読図や作図を通じて設計の基礎を身につけました。現在は、機械設計に加えて受注から納入までの品質・コスト・納期の管理も担当しています。工学の知識や設計技術だけでなく、社内外の関係者と連携し仕事を進める力も求められます。細部までこだわった機械づくりが顧客の高い評価につながることにやりがいを感じます。

設計の仕事において、工業系高校生の大きな強みは専門用語や機械の基礎が分かることです。一方で、入社後はさらに専門的な知識が必要な場面もあります。その時、自ら調べたり先輩を頼ったり、積極的に学び続ける姿勢が大切です。またデジタル技術が進歩する今だからこそ、解決すべき課題を自ら見つけ、技術を使って解決につなげられる技術者が活躍できると思います。

（淀川工科高校 メカトロニクス系 卒）

知財守る仕事めざす 建築から法務へ



大阪工業大学
知的財産学部 3年
東（あずま） 紗春（すずは）さん

「普通科より違うことをした方が楽しい」という姉の言葉で進学先を実業高校に絞り、大学に進学予定だったので大学進学専科がある今宮工科高校に進学しました。

建築やデザインを見るのが好きだったこともあり建築・デザインコースを専攻。大学も建築系学科に進む予定でした。しかし3年生のデザイン実習がきっかけで知った無形財産を守るための仕組みに強い魅力を感じ、進路を変更して大阪工業大学の知的財産学部に進学しました。今後は弁理士資格を取得し、将来的にはゲーム・エンターテインメント業界やメーカーの知財部門で働くことを目指しています。

高校在学時は実習や課題が多く毎日が大変でした。特にある建築模型のコンペティションに取り組んだ時は、テーマに沿ったリアルなペルソナを考えることにとても苦戦しました。ですが大学生になった今、当時の経験が粘り強く考える・やり抜くための基礎力として備わっていると感じます。高校生の皆さんも、将来の自分への投資だと思って今を頑張ってほしいですね。同時に、今しかできない高校生活を思いきり楽しんでください。

（今宮工科高校 工学系大学進学専科 卒）

モノづくりと生産管理の経験生かしたい



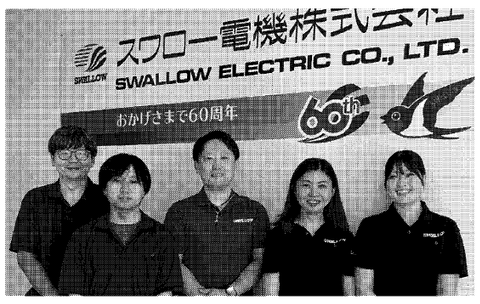
アソー
技術管理部 次長
水田（みずた） 勇（いさむ）さん

高校卒業後は工具メーカーに入社し約10年勤めました。そこで成型、切削加工など一通りの工程を経験し、生産管理課で工場の工程管理を担いました。退職後は個人事業主として電気設備工事に携わりました。

電気工事業は収入が不安定なことや将来性に不安があり、工具メーカーで培ったモノづくりと生産管理の経験を生かしたいと思ったのが転職のきっかけです。アソーの面接時に「生産管理の経験を生かしてほしい」と言ってもらい、ここでなら自分の力を発揮できると感じました。入社後は生産管理課に配属され、現在は技術管理部で設計業務なども担当しています。

工業系高校は技能の基礎を学べる点が最大の強みです。在学当時の生野工業高校ではいち早く最新機械の導入が進められ、機械加工の基礎を実践的に学べました。その土台があったからこそ、さまざまな資格取得にも挑戦できました。高校時代に学んだ基礎と機械作業の経験は、現在の設計業務にも役立っています。日本のモノづくりを支える工業系高校出身者は社会で強く求められています。ぜひ自信を持って頑張ってください。

（生野工業高校 機械科 卒）

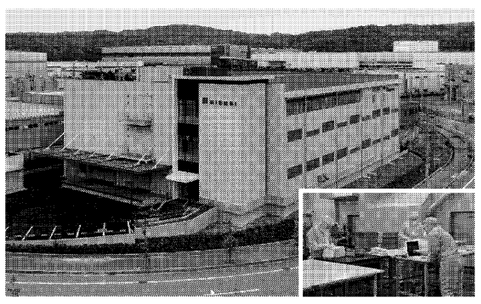


生産体制強化、供給力高め市場シェアを目指す

創業60周年を迎えたスワロー電機は、トランス（変圧器）や電源機器を手がける専門メーカー。1985年には業界に先駆けて「カラーターミナル」や「ねじアップ式端子台」を備えたトランスを開発するなど、現場の声を生かした独自技術に強みを持つ。現在はＬＥＤで電圧異常を色分け表示し、故障や漏電の予兆把握を可能にする新製品開発を推進。堺工場を増強し大型トランスの生産体制を強化。新工場建設も進めている。

今後はデータセンターや工場向け需要の拡大を追い風に、商社との連携を深めながら供給力と市場シェアの向上を目指す。培った技術力と挑戦を続ける企業風土で、モノづくりの可能性を広げている。

スワロー電機株式会社 本社 〒546-0041 大阪市東住吉区桑津2−6−32 TEL:(06)6714-0431㈹ FAX:(06)6719-8188 堺事業所 〒587-0042 堺市美原区木材通1−10−5 TEL:(072)363-7801㈹ FAX:(072)363-7807



「探求」と「創造」でモノづくりを支える

日精はメーカー機能を持つ商社。合成繊維・樹脂などのさまざまな製品を産業資材分野に供給する。近年はメーカー機能の充実を進めており、2021年に完成した神戸工場では医療・業務用マスクなど不織布製品を主とした加工を行っている。国内外の素材調達への長年の信頼と市場ニーズに合わせた加工力、幅広い分野・用途への展開力を強みとして日本のモノづくりを支える。

同社は「安全」「安心」「健康」をキーワードに、時代と環境に対応し社会に貢献し続ける企業を目指す。福利厚生の充実も図っており、和気あいあいと助け合い成長できる環境を整備している。さらなる成長に向け、人材育成と設備増強の両面に力を注ぐ。

日精株式会社 神戸工場 〒651-2228 兵庫県神戸市西区見津が丘5−5−7 TEL:(078)994-1100 本社 〒530-0011 大阪市北区大深町3−1 グランフロント大阪タワーB 12階 TEL:(06)6485-3771



段ボール用刃物のノウハウ生かし持続成長へ

近畿刃物工業は1960年創業の段ボール・紙器加工用刃物の専門メーカー。大阪府守口市に本社を置き、設計から成形加工、熱処理、研磨までの一貫生産体制を構築している。強みは、段ボール加工用刃物に特化して蓄積した豊富なノウハウと、多品種少量・短納期に対応する生産力。特許取得や独自技術の開発にも積極的で、西日本有数の専門メーカーとして存在感を示す。

また、従業員を最も重要な経営資源と位置付け、福利厚生の充実や働きやすい職場環境づくりにも注力。高付加価値製品の開発や人材育成を進めるとともに、培った技術を生かした新分野への展開を図り、持続的な成長を目指している。

近畿刃物工業株式会社 〒570-0003 大阪府守口市大日町3−33−12 TEL:(06)6901-1221 FAX:(06)6905-9713

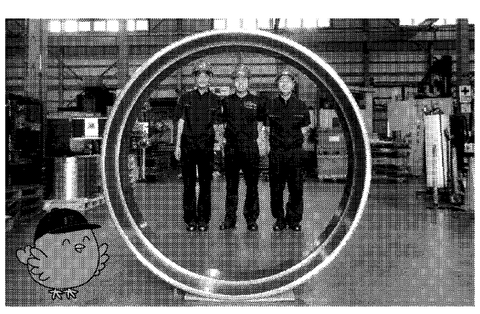


技術力と豊富な設計ノウハウでニーズに応える

大阪市東成区に本社を置き、治具・検査具・ゲージ類を中心に、創業102年の専用機や精密測定機器の設計・製作・販売を手がけるメーカー。自動車関連をはじめとする幅広い製造業向けに、高精度で信頼性の高い製品を提供している。

長年にわたり培った技術力と豊富な設計ノウハウを生かし、顧客のニーズに応じたオーダーメイド対応を実現。設計から製作、検査、納品までの一貫した生産体制を強みとし、多様な課題解決を支援している。また、高度な加工技術と品質管理体制により、高精度・高品質なモノづくりを追求。迅速な対応力ときめ細かなサポートで、国内外の製造現場から高い信頼を獲得している。

東亜精機工業株式会社 本社・工場 大阪市東成区中道1−5−8 TEL:(06)6972-2431㈹ FAX:(06)6976-6960 城東工場 大阪市城東区東中浜2−13−28 東大阪工場 大阪府東大阪市高井田本通4−5−7 (ダイ子会社)TOA PRECISION MACHINERY (THAILAND) CO., LTD. 9/83 MOO 5 PHAHOLYOTIN ROAD,KLONG 1, KLONG LUANG,PATUMTHANI 12120, THAILAND



技術を磨き、人を育て、信頼を積み重ねる

伸和鉄工所は大型精密加工を軸とする部品加工メーカー。1976年の創業以来、ベアリング部品加工で培ってきた技術と品質管理体制を礎に、多様な部品づくりに取り組んできた。産業・工作機械、船舶や航空機などのさまざまな分野で同社が加工した部品が使われている。

同社は福利厚生に力を入れており、サークル活動や資格手当を導入。社員一人ひとりがチャレンジ精神を持ち技術を磨く環境を整え、社員全員が一致団結できる会社づくりに取り組む。同社社員は「技術を磨き、難しい加工・製品をやり遂げること仕事の幅を広げることがやりがいにつながる」と話す。同社はこれからも一丸となって、人が育つ会社を作っていく。

株式会社 伸和鉄工所 〒639-2261 奈良県御所市城山台166−11 TEL:(0745)66-9555 FAX:(0745)66-9557

関西 推モノづくり企業のレキャラグランプリ

結果発表！

9月10日から投票が始まった日刊工業新聞社西日本支社主催の「関西モノづくり企業の推しキャラグランプリ」。関西のモノづくり企業で活躍しているキャラクターの魅力を発信し、広く知ってもらうきっかけの場として開催した。

記念すべき第1回は、自社の強みをモチーフにしたユニークなキャラクターたち46体が集まり、約1カ月間の熱戦を繰り広げた。

投票総数は1万4846票。全国の日刊工業新聞の読者をはじめ、工業系高校の生徒の投票も多数見られた。

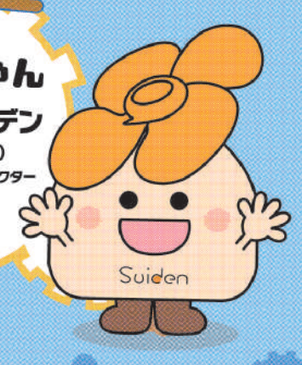
結果発表サイトはこちら



1位
トリポン
株式会社西島製作所
（大阪府高槻市）
西島製作所 公式マスコットキャラクター
7608点



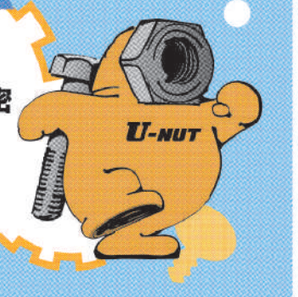
2位
べあまる
NTN株式会社
（大阪市北区）
NTN マスコットキャラクター
7584点



3位
はねむちゃん
株式会社スイデン
（大阪市天王寺区）
スイデン マスコットキャラクター
6204点



4位
メイメイちゃん
新明和工業株式会社
（兵庫県宝塚市）
新明和グループ企業 PR アンバサダー
3616点



5位
ググ
株式会社冨士精密
（大阪府豊中市）
冨士精密 イメージキャラクター
3134点



6位
ねじっとくん
日東精工株式会社
（京都府綾部市）
日東精工 マスコットキャラクター
2882点



7位
つるぽん
株式会社鶴見製作所
（大阪市鶴見区）
ツルミポンプ 公式マスコットキャラクター
2464点



たくさんの投票・コメント、ありがとうございました！

応援隊長
ものたん

※存在が確認できないメールアドレスによる「なりすまし」の場合、正式な投票数としてカウントはしておりません。

抽選プレゼントについて

当選された方には、2026年11月下旬にメールにてお知らせいたします。
なお、メールによる当選のご連絡から1週間以内にご返信をいただけない場合は、当選を無効とさせていただきます。

本企画のご意見・感想はこちら

ご要望が多く、2027年度の開催を検討しております。自社マスコットのエントリーを希望される方は、資料ができ次第ご案内いたしますので連絡先をご記入ください。

URL：https://forms.cloud.microsoft/r/2rQLfqy2du
事務局：日刊工業新聞社 西日本支社

#関西モノづくり企業の推しキャラグランプリ

企業にききたい！Q&A

現役「工高生」のギモン

就職活動は、生徒にとってこれからの人生を左右する大切な選択の一つ。しかし就活中の生徒からは「本当は聞いてみたいけど聞きづらい」という悩みが少なくない。そこで今回、工業系高校生から寄せられた就職活動に関する疑問や不安をまとめ、企業の部門担当者に回答してもらった。

●仕事量や仕事内容について

Q 1年間でどれくらいの仕事がくるのか、また1件あたりの仕事量（大変さ）を知りたいです。どんな仕事内容かも教えてください。

A 繊維製品メーカー
仕事量　平日（8時間／日）で仕事を行い、暇にはならない程度の仕事量。
仕事内容　製品の品質管理、新規事業の立ち上げへの参画、不適合発生時の対応など多岐にわたる。

日用品・産業資材メーカー
仕事量　基本的に定時退社。忙しい時は交代勤務で夜間勤務もある。
仕事内容　印刷業務だと、材料や機器の準備・機械にセットし色合わせ、検品、稼働、中継ぎ、完成品の検品、運搬という流れ。複数回材料や機器を入れ替えることもある。

歯車メーカー
仕事量　大きなものでは材料調達から完成納入まで1年以上要する製品もある。
仕事内容　歯車の歯の部分を加工する。

Q これまでの仕事で大変だったこと、苦しかったことを知りたいです。それをどうやって乗り越えましたか。

A
・入社当初から社会人として馴染むまでが苦しかった。どんな仕事にも興味を持って、地道に知らないことを潰していった。解決法は人によりさまざまだが、できることを一つずつやっていくのが良いと思う。
・思い通りの品質が出ないこと。先輩や仲間と相談しながら原因を探り、何度も改善を重ねる。製品が完成したときや顧客に喜んでもらえたときは大きな達成感がある。

●入社前と入社後のギャップについて

Q 入社後に「思っていたより良かった点」と「ギャップに感じた点」はありますか？

A

良かった点
・コミュニケーション制度、資格制度、健康に関する制度が充実していること
・まじめな人が多いこと
・メーカーはお堅いイメージがあったが、上下関係もほどよく、人間関係は良好に感じる。

ギャップ
・想像していたより後輩が少ない（数年単位で後輩がいないのは異常というほどではない）
・仕事の評価のスパンが長い（自分がどう評価されているのかなかなか分からない）

●会社の雰囲気、社員同士の交流について

Q 勤務時間がバラバラでコミュニケーションを取る機会がない仕事の場合、社員との関わり方で気をつけていることはありますか。（個人的に気をつけていること、会社で行われている取り組みなど）

A
会社　部課単位の忘年会などの補助、管理職主催の懇親会、メンター制度、社内応援制度など
会社　コミュニケーションツールとして、社員間の感謝の気持ちを伝えるカードを運用。年末表彰の対象にもなっている。
個人　対面でのやりとりを大事にしている。

Q 社員同士の交流の頻度はどのくらいありますか？

A
・年に数回、組合主催のレクリエーションで仕事抜きのコミュニケーションが取れる。
・年に1回の社員旅行で普段会えない仲間とも交流できる。マラソンやハイキング、ゴルフなどのサークル活動、バーベキューなどで部署や年齢を超えたつながりが生まれている。

●求められるスキルや面接対策

Q 入社前に取得した方がいい資格はありますか。また入社後に役立った資格やスキルなどがあれば教えてください。

A
・必要な資格は入社後会社が取得支援している。
・入社前に製品に関する知識は必要ではないが、一般的な機械図面を読む力はあった方が仕事の習得が早い。入社後は、先輩から仕事を教わるコミュニケーション力が必要。

Q 面接練習をしていて、つい話が長くなってしまいがちです。
面接ではコミュニケーション能力も評価されていると思いますが、どういった点を見ていますか。
また自己アピールでは、どういうところを評価しますか。

A
・自己アピールは「問題解決能力」を評価したいので、過去の実体験（学校行事・部活動での課題／対策／成果）を絡めて説明できるとよい。
・上手に話せるかではなく自分の考えを素直に伝えようとしているか。緊張して言葉に詰まっても問題なし。話す力だけでなく、人の話をしっかり聞く力も大切。
・自己アピールではモノづくりへの興味や成長したいという意欲を評価している。
・何かを長く続けてきた実績（趣味でもスポーツでも何でもよい）を評価する。

【就職先を選ぶ高校生の皆さんへ】

大阪中小企業投資育成は中堅・中小企業に投資し、その成長を支える公的な機関です。

就職先を選ぶ際には、規模や知名度だけではなく、どんな仕事で社会を支えているのかを知ってほしいです。大企業の製品に欠かせない部品を作る会社や、独自技術を持つ会社など、それぞれの強みがあります。工場見学の機会があれば、まず現場が明るく、整理整頓されているかに目を向けてみてください。社員の表情などから職場の雰囲気を感じ取ってみるのも一つ。働く人が生き生きしている会社は社風がよく、チームワークもいいものです。設備の新旧は会社を見るポイントの一つですが、それだけでは分からないこともあります。古い機械をうまく使って利益につなげている会社もあります。

ホームページも参考になります。良い会社は経営者がいろいろなことを考え、さまざまな手を打っていますので、社長の言葉や経営理念に注目してみるのもよいと思います。会社の将来像に心が動くか、働く姿を想像できるか考えてみてください。給与や福利厚生、人材育成などの面で大企業に引けを取らない中堅・中小企業も増えています。たくさん調べて自分に合う1社を見つけてください。



小松 茂さん
大阪中小企業投資育成
取締役

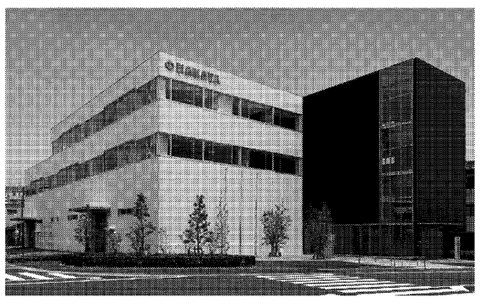


ファブレス強みに学びと挑戦続ける

アソーはバルブや継ぎ手の製造・販売を手がけるメーカー。ファブレス経営を強みとし、30社以上の協力工場とのネットワークを生かして、規格品からセミオーダー、オーダーメードまで幅広いニーズに対応している。現在は2026年度完成予定の新工場建設を進めており、組み立て・検査機能を集約することで生産体制の強化を図る。

また、豊富な製品知識を備えた人材育成にも注力する。今後は協力工場との連携をさらに深め、事業承継支援も視野に入れながら供給力を高める方針だ。変化を成長の機会と捉え、学びと挑戦を続ける企業として、モノづくり産業の発展と地域産業の活性化に貢献していく。

ASOH Valve & Fitting Brand　アソー株式会社
本　社　〒544-0004　大阪市生野区巽北4−14−21　TEL:(06)6755-3301　FAX:(06)6755-3808
イタチボリオフィス　〒550-0013　大阪市西区新町4−1−11　TEL:(06)6538-3101　FAX:(06)6538-3103
トーキョーオフィス　〒101-0031　東京都千代田区東神田2−7−1 広部ミヤケビル二階　TEL:(03)5835-3115　FAX:(03)5835-3116



独自技術で世界のパイプづくりの進化に貢献

中田製作所は金属パイプをつくる機械の開発・設計・製造・販売を手がける産業機械メーカー。1908年の創立以来、118年にわたり培ってきた技術力を基盤に、独自のパイプ成形技術を開発し、世界のパイプ製造業界で確かな実績と信頼を築いてきた。同社の設備でつくられるパイプは、建築物やエネルギー関連設備など、社会を支えるさまざまな分野で活躍している。機械設計、電気制御、ソフトウエアなど、多様な技術を組み合わせ、顧客のニーズに応じた設備を生み出すことが仕事だ。

世界を舞台に、技術の可能性を追求し、新たな価値を創造する。これからも独自技術を磨き、世界のモノづくりと社会の発展に貢献していく。

NAKATA 株式会社中田製作所　〒532-0027　大阪市淀川区田川3−7−6　TEL:(06)6303-1900　FAX:(06)6303-1905